

健康

県歯科医師会コラム

歯の健康

上原 泰通



<32>

歯周病は成人の約八割以上がかかっている病気です。原因は歯垢や歯石に存在する細菌と、それらが作り出す毒素によるものです。しかもこれらの歯周病菌は歯周ポケットから歯肉の中に入り込み、歯肉の毛細血管を通して心臓に送られ、全身に回ってしまします。特に抵抗力の落ちている方やお年寄りは、血液中で細菌が増えやすいため、敗血症になることがあります。

歯周病を持つ方で、非常にリスクのある病気の一つに細菌性心内膜炎という病気があります。歯周病のある方の発症率は一・五―二倍多いとされています。

発症すると命の危険性のある怖い病気です。もともと心臓

歯周病と全身疾患

の弁に異常のある方は特に注意しなければなりません。歯周病菌が心臓の弁に付着しやすいため、そこで細菌の増殖が始まり、心臓内の血流に渦が生じ、よどんだ血液は固まって、血栓を形成します。血栓が全身に飛んで脳の血管を詰まらせると脳梗塞となり、心臓の血管を詰まらせると心筋梗塞の原因となることがあります。

妊娠中に歯周病が長引くと歯周病による炎症が作り出された炎症物質(サイトカイン)がインスリンの働きを抑制するため、糖尿病が悪化します。しかし歯周病を治療することにより、血糖のコントロールが改善することが報告されています。

また歯周病菌(キャンピロバクター)と胃潰瘍を引き起こすピロリ菌がよく似ているため、お互いにアレルギー反応を起こし、歯周病と胃潰瘍の両方が悪化します。

さらに歯周病により産生された炎症物質(サイトカイン)がインスリンの働きを抑制するため、糖尿病が悪化します。

さらに歯周病により産生された炎症物質(サイトカイン)がインスリンの働きを抑制するため、糖尿病が悪化します。

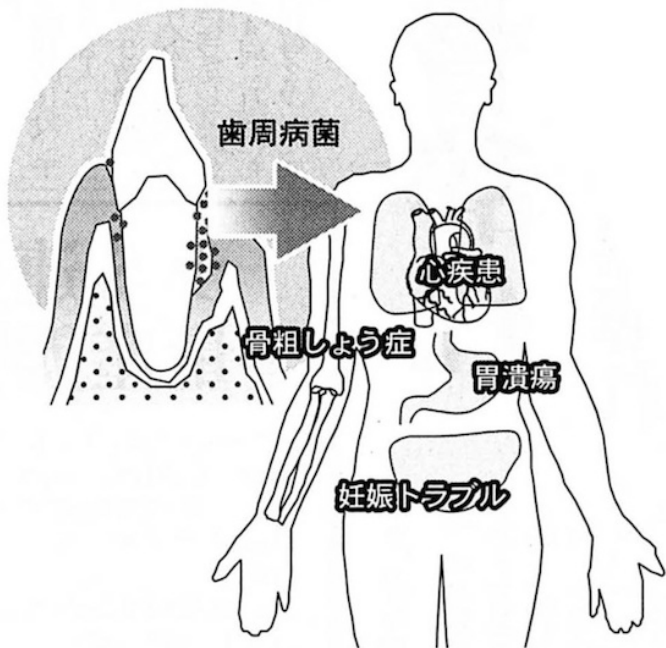
さらに歯周病により産生された炎症物質(サイトカイン)がインスリンの働きを抑制するため、糖尿病が悪化します。

心臓に細菌命の危険も

の病気には密接なかわり合いがあり歯周病も全身の病気も両方とも治療していく必要があります。

歯周病菌を口腔内から、完全に消し去ることはできませんが、歯周病を安定化させ、全身への影響をほとんどないような状態にすることは、十分可能です。

全身の病気と同じように、かかりつけの歯科医院で定期検診を受け、むし歯、歯周病などをチェックされることをお勧めします。(まえばと歯科)



歯周病菌

骨粗しょう症

胃潰瘍

妊娠トラブル

心疾患